

8. 点群データを活用した出来形・出来高管理

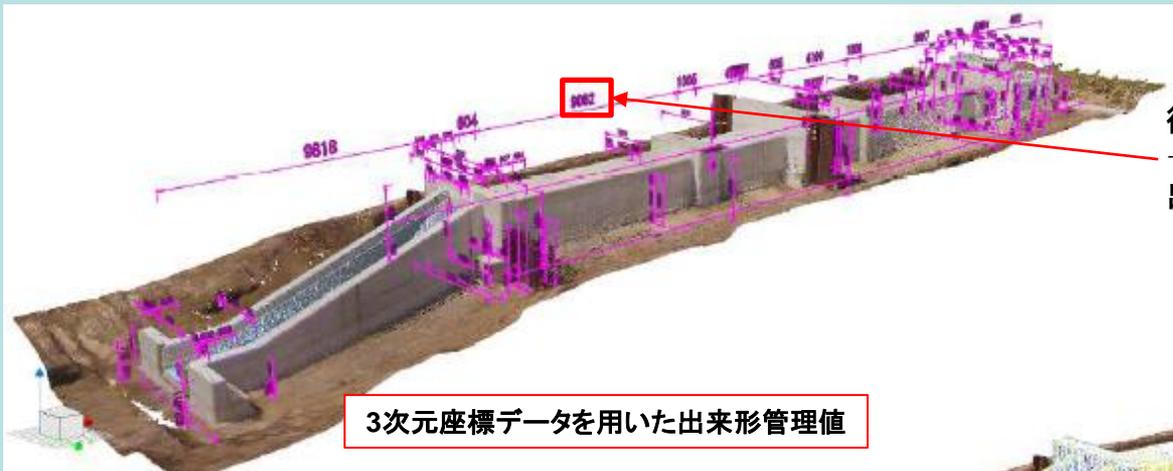
■ 3次元計測技術を用いた樋門・樋管本体工の出来形管理

【実施内容】 3次元点群データを用いて樋門・樋管本体工の出来形計測項目の算出を行った。また、3次元設計データの各面の垂直方向で出来形計測点群の離れを算出し、出来ばえ評価が可能な分布図（ヒートマップ）を作成した。

【効果】 ① 出来形管理値は従来計測と同等となったため、出来形の確認が容易となった。

② 出来形計測点群のデータを維持管理段階に引き継ぐことができ、次工程の効率化に繋がった。

【必要スキル】 ① 3次元CADの操作 ② 点群データの取得・加工 ③ 設計モデルと計測データの差分分析



従来計測と同等の出来形管理値となった
→ 樋門・樋管本体工の3次元計測技術を用いた
出来形管理は技術的に可能である

出来ばえ評価が可能な分布図
（ヒートマップ）を作成

